

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 廣治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 甲佐 邦彦

TEL 03-3216-6431

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	528	△57.8	△149	—	23	—	15	—
21年3月期第1四半期	1,252	—	△168	—	△102	—	△194	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.01	—
21年3月期第1四半期	△0.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,920	3,740	76.0	3.72
21年3月期	5,027	3,725	74.1	3.70

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,740百万円 21年3月期 3,725百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,300	△49.2	△200	—	△205	—	△210	—	△0.20
通期	2,780	△30.5	△330	—	△340	—	△350	—	△0.34

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	1,020,698,682株	21年3月期	1,020,698,682株
---------------------	-------------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	14,732,264株	21年3月期	14,728,940株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	1,005,967,900株	21年3月期第1四半期	1,005,981,747株
--------------------	-------------	----------------	-------------	----------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年来の金融・経済危機の影響から企業業績の悪化が進み、一部には景気の底入れ感が見られるものの、依然として厳しい状況が続くなど不透明な状況で推移しました。このような環境の下、当第1四半期の売上高につきましては、ニッケル事業では、LME 価格の上昇に伴い販売価格も上昇基調にあります。また、昨年来の在庫調整の影響で販売量が前年同期に比べ減少したことにより、売上高は2億20百万円（前年同期9億16百万円）となりました。

不動産事業では、サブプライムローン問題、金融の停滞等による影響から不動産への投資が見送られる状況と市況の悪化の中で営業活動に努めましたが売上高は2百万円（前年同期4百万円）となりました。

教育事業では、新規生徒の確保と退会防止に努めた結果、売上高は3億4百万円（前年同期3億31百万円）となりました。

これらにより、当第1四半期の業績は、売上高5億28百万円（前年同期売上高12億52百万円）、営業損失1億49百万円（前年同期営業損失1億68百万円）、経常利益23百万円（前年同期経常損失1億2百万円）、四半期純利益15百万円（前年同期四半期純損失1億94百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ97百万円減少し、31億4百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ9百万円減少し、18億16百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却費によるものであります。

負債につきましては、流動負債は前事業年度末に比べ72百万円減少し、3億45百万円となりました。これは主に未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ48百万円減少し、8億34百万円となりました。これは主に長期借入金50百万円を1年内返済予定長期借入金への振替計上によるものであります。

純資産につきましては、15百万円の増加となりました。これは当第1四半期純利益15百万円を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金という」）の期末残高は、前事業年度末に比べ2億26百万円減少し12億11百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、1億80百万円（前年同期1億54百万円）となりました。

その主な内訳は、売買目的有価証券の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、3百万円（前年同期9百万円）となりました。

その主な内訳は、敷金保証金の回収等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、50百万円（前年同期49百万円）となりました。

その主な内訳は、短期借入金の返済によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額項目を重要なものに限る方法によっております。

- (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,811	1,438,693
受取手形	54,090	26,739
売掛金	86,393	73,972
営業未収入金	42,733	63,455
有価証券	523,611	362,625
販売用不動産	892,476	919,933
商品	45,879	45,999
製品	68,944	62,987
原材料	8,574	19,333
仕掛品	2,701	—
前払費用	33,260	44,790
未収入金	29,648	32,809
預け金	102,189	102,360
その他	8,727	9,147
貸倒引当金	△6,979	△1,630
流動資産合計	3,104,062	3,201,219
固定資産		
有形固定資産		
建物	685,810	685,190
減価償却累計額	△334,363	△329,843
建物(純額)	351,447	355,347
構築物	29,778	29,778
減価償却累計額	△26,119	△26,011
構築物(純額)	3,658	3,767
機械及び装置	188,502	188,502
減価償却累計額	△182,676	△182,180
機械及び装置(純額)	5,826	6,321
車両運搬具	14,829	14,829
減価償却累計額	△13,621	△13,499
車両運搬具(純額)	1,208	1,330
工具、器具及び備品	188,024	188,024
減価償却累計額	△173,032	△171,907
工具、器具及び備品(純額)	14,991	16,117
有形固定資産合計	377,132	382,883
無形固定資産		
借地権	14,678	14,678
ソフトウエア	5,477	6,526
電話加入権	14,702	14,702

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
無形固定資産合計	34,858	35,906
投資その他の資産		
投資有価証券	82,538	82,551
関係会社株式	974,810	974,810
出資金	1,400	1,400
会員権	24,376	24,376
長期貸付金	4,700	5,300
長期前払費用	6,376	6,802
敷金及び保証金	240,302	242,566
長期未収入金	100,515	98,625
長期営業外未収入金	57,300	57,300
その他	10,590	9,868
貸倒引当金	△98,148	△96,436
投資その他の資産合計	1,404,762	1,407,164
固定資産合計	1,816,753	1,825,954
資産合計	4,920,815	5,027,174
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,125	14,697
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払金	68,127	105,737
未払法人税等	12,086	24,190
前受金	5,329	19,071
賞与引当金	3,718	2,931
未払費用	54,339	59,970
預り金	10,542	10,674
未払消費税等	8,094	22,816
訴訟損失引当金	107,632	107,632
その他	966	1,059
流動負債合計	345,962	418,781
固定負債		
長期借入金	696,000	746,000
退職給付引当金	7,511	7,133
役員退職慰労引当金	51,466	50,480
長期預り金	79,300	79,300
固定負債合計	834,277	882,913
負債合計	1,180,240	1,301,695

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	1,560,321	1,560,321
利益剰余金	△2,487,727	△2,502,760
自己株式	△331,744	△331,743
株主資本合計	3,740,849	3,725,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△273	△338
評価・換算差額等合計	△273	△338
純資産合計	3,740,575	3,725,479
負債純資産合計	4,920,815	5,027,174

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,252,588	528,387
売上原価	1,247,065	508,932
売上総利益	5,523	19,455
販売費及び一般管理費	173,570	168,903
営業損失(△)	△168,047	△149,448
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,137	4,222
受取賃貸料	5,878	6,301
有価証券評価益	55,614	160,986
その他	1,254	2,092
営業外収益合計	71,884	173,603
営業外費用		
売上割引	3,171	439
その他	2,669	—
営業外費用合計	5,840	439
経常利益又は経常損失(△)	△102,003	23,715
特別利益		
過年度損益修正益	—	662
貸倒引当金戻入額	2,350	—
特別利益合計	2,350	662
特別損失		
過年度損益修正損	—	926
投資有価証券評価損	78,724	—
貸倒引当金繰入額	—	5,255
その他	12,666	125
特別損失合計	91,391	6,306
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△191,045	18,071
法人税、住民税及び事業税	3,256	3,039
法人税等合計	3,256	3,039
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△194,301	15,032

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△191,045	18,071
減価償却費	11,803	7,845
投資有価証券評価損益 (△は益)	78,724	—
受取利息及び受取配当金	△9,137	△4,222
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,662	787
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	844	377
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,684	986
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,350	7,062
売上債権の増減額 (△は増加)	154,459	△19,049
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,676	9,808
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,259	29,670
売買目的有価証券の純増 (△) 減	△202,358	△160,986
前払費用の増減額 (△は増加)	—	11,530
未収入金の増減額 (△は増加)	23,020	△304
預け金の増減額 (△は増加)	147,366	—
未払金の増減額 (△は減少)	△58,290	△37,443
未払費用の増減額 (△は減少)	9,666	△5,631
預り金の増減額 (△は減少)	△3,851	—
前受金の増減額 (△は減少)	△20,083	△13,741
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,679	△14,722
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△19,759	△2,166
その他	△1,049	797
小計	△147,948	△171,330
利息及び配当金の受取額	7,099	3,928
法人税等の支払額	△13,796	△12,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	△154,645	△180,378
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,564	—
長期貸付金の回収による収入	1,280	600
敷金及び保証金の回収による収入	11,300	2,350
その他	844	714
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,860	3,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
その他	0	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,999	△50,168
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,785	△226,882
現金及び現金同等物の期首残高	911,835	1,438,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	717,050	1,211,811

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 持分法損益等

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年6月30日)
関連会社に対する投資の金額	954,810 千円
持分法を適用した場合の投資の金額	1,985,009 千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	14,599 千円